

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月28日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年8月11日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年5月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～1 月上旬 2 学期: 1 月上旬～5 月中旬 3 学期: 5 月下旬～8 月中旬 4 学期: ～
学生数	約 33,000 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	日本円	備考
授業料	6,568	円	
宿舍費	6,460	円	
食費	104	円	
図書費		円	
学用品費	16	円	
携帯・インターネット費	237	円	
現地交通費	105	円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		131,049 円	
ビザ申請費	185	円	
雑費	300	円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田国際空港 目的地: サンフランシスコ国際空港 経由地: 復路 出発地: サンフランシスコ国際空港 目的地: 成田国際空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: ZIPAIR 料金: 131,049 円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: エアトリ) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: International House at UC Berkeley) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学報告書
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
外装も綺麗ですし、内装も清潔で特段不満な点はありません。異文化交流が盛んな寮で、時々住民が参加するイベントが開かれます。住んでいるだけでも留学生活を楽しめると感じます。一方で、ダイニングで提供されるご飯には人によって好き嫌いが分かれる可能性があります。それを踏まえても、正直、この留学プログラムでしたら、こちらの寮に住んでおけば安心だと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

たびレジの登録を行い、そういった情報を頻繁にチェックしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

概ね良好でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座の開設を行う等を行わず、クレジットカードを使ってすべて支払っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前、クレジットカードにて支払いを行いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Game Theory in the Social Sciences	ゲーム理論
科目設置学部・研究科	経済学部
履修期間	SessionA
単位数	4units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 4 回
担当教授	Tyler Maxey
授業内容	ゲーム理論
試験・課題等	midterm と final の計 2 回のテストがありました。加えて、毎週 2 つ、授業内容を確認する実践問題を解いてオンラインで提出する課題がありました。
感想を自由記入	明治大学でゲーム理論を少し学んでいたため、予備知識があつてよいかと思つて選択した授業でしたが、あまりにも授業スピードが速く、少し私には難解な数学的操作も多く登場したため、頻繁に出る課題やテストの勉強に多くの時間を割かざるを得ませんでした。しかしそういった学習によってさまざまな学術的な用語に触れることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Critical Issues in Global Studies	グローバル・スタディーズ
科目設置学部・研究科	国際学部
履修期間	SessionD
単位数	3units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式・ディスカッション形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Devin Leigh
授業内容	グローバル世界が抱える問題を移民、文化、経済といった視点から考えます。
試験・課題等	毎週末に1週間の授業のまとめのエッセイを書き、毎週水曜日に世界の国名を地域ごとに答えるテストがあります。また、毎週木曜日にはリーディング課題にまつわる教授の質問に答えるエッセイを書きます。大きなテストはfinalのエッセイ1回です。
感想を自由記入	課題の量は、私が取った授業の中で一番多く、授業内容も毎回大変濃いものでした。国際問題について多角的に見つめる姿勢が身についたように感じます。また、この授業はディスカッションが盛んに行われていたため、英語で自分の意見を発信し、逆に相手の意見を聞き取るという学習を積むことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social Psychology	社会心理学
科目設置学部・研究科	心理学部
履修期間	SessionD
単位数	3units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に240分が2回
担当教授	Doris Dai
授業内容	人間の社会的行動を心理学の観点から分析します。
試験・課題等	midtermとfinalがオンラインで行われます。
感想を自由記入	この授業はとにかく授業時間が4時間と長く(休憩は合計30分ほどあります)、集中力を維持することが難しかったです。しかし、授業内容はかなり面白く興味を持って授業に参加することができました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	明治大学へ留学出願
留学開始年	1月～3月	パスポート取得
	4月～7月	ビザ取得、航空券購入、留学開始
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

この留学先を選んだ理由は、単純にも世界的に権威ある大学であり、チャンスがあるなら数か月でもそういった世界で生活してみたいといった興味や好奇心が一番でした。留学生活においては、留学前の自分より成長した自分になると、多くのことに挑戦しました。まずは、英語力の向上のために海外の人と話したり、一緒に何かをする環境を求めて動きました。また、私自身留学前の学習が部活動の練習や活動によって思うようにできなかったため、留学中に英単語の勉強や文法の確認を行うことも少しありました。語学能力の面のほかにも、週末や授業のない日は積極的に外出し、行ったことのない地に足を運ぶことも多くありました。サンフランシスコへは学生料金 0ドルでバスで行くことができるので沢山遊びに行きました。授業のない日の過ごし方として、ジムにも高頻度で通いました。強靱な体を作り上げる目的と勉強時間の合間のリフレッシュもかねて利用してました。自分を極限まで追い込み成長を感じる瞬間は大変な充実感と達成感がありました。同じ寮にマッチョな男の友人がいたので、一緒にジムに向かいトレーニングを行い汗を流す日々を送っていました。所属している明治大学応援団応援指導班におけるブランクの影響を最小限に抑え、帰国後に成長した姿を見せるために、部活動関連の練習も併せて行っていました。

